

三条北ロータリークラブ週報



ジェニファー・ジョーンズ RI会長「イマジン ロータリー」

第2560地区：高橋英樹ガバナー「再生・新生・共生」

三条北 RC：松山浩仁会長「service & enjoy 進化するロータリー！」



会長：松山浩仁 幹事：武田恒夫 SAA：齋藤孝之輔

●例会日：火曜日 12:30～13:30 ●例会場：三条ロイヤルホテル TEL 0256-34-8111

◆本日の行事：「新入会員卓話」

◆本日の出席：55名中28名

◆先々回の出席率：55名中41名 74.55%
(前年同期 81.03%)

◆先週のメイクアップ(敬称略)：

7/26 分水 RC 樋口 勤、田中耕太郎

8/5 米山奨学制度説明会 米山忠俊

* 本日の配布書類等

・週報 No.1673

会長挨拶：松山浩仁 会長



こんにちは！

三条の他の3クラブは8月中の休会を決めましたが、北クラブは先ほどの理事会で進化するロータリーとして8月の例会をスクール形式にしながらも開会する事となりましたので、よろしくお願いします。

さてこの一週間で色んな事がありました。先週下越地方で記録的な豪雨により甚大な被害が出ました。幸い人的な被害は無かったようですが、一日も早く復旧される事を願いたいと思います。

また土曜日には夏の高校野球大会が開会しました。昨日、残念ながら新潟代表の日本文理は敗れてしまいましたが、まだ皆さんの記憶にもあるでしょうか、2009年の91回大会で日本文理が決勝戦まで進み球史に残る試合をした事を。私は唯一甲子園での高校野球観戦がこの試合でした。甲子園には高校野球マニアの人が沢山いて自分が監督にでもなったかのように大声で応援している人がいました。途中7点差まで引き離されワンサイドゲームになった時にはチラホラ帰る人もいる中その人は最後まで応援を続け、ゲームセットになった瞬間には屈みこんで号泣したかと思うと校旗掲揚と校歌斉唱の際にはずっと立ち上がり胸に手を当て涙顔で直立していました。それを見て私も感動しましたが、スポーツだけでなく文系クラブでも何事にも目標を持って一つの事に一生懸命に打ち込む若者の姿には感動します。新潟の代表校が敗れたので今年の楽しみが少し薄れましたが、この時期になると思い出します。



米山記念奨学会

奨学金授与
サボー ペーテル 君



幹事報告：武田恒夫 幹事



・高橋ガバナーより、
「ロータリー防減災セミナーのご案内」
日時：9月17日(土)13:30～17:00
会場：長岡市立中央図書館講堂

・米山ガバナーエレクトより、
「米山ガバナーエレクト開所式のご案内」
日時：9月11日(日)15:00～17:00
会場：銭心亭おゝ乃

・地区米山奨学委員会より、
「米山記念奨学生オンライン親睦交流会のご案内」
日時：8月28日(日) 開催形式：Zoomによるオンライン開催
・高橋ガバナー事務所より、「環境分野に関するアンケートのお願い」



第 2 回 役員理事会議事録		
開催日時	令和 4 年 8 月 9 日 (火) 11:30~12:30	
開催場所	三条ロイヤルホテル	
出席者	出席数 16 名 (委任状 3 名) / 16 名	
	松山浩仁、森 宏、高橋研一、武田恒夫、金子太一郎、齋藤孝之輔、石川一昭、渋谷義徳、佐藤義英、大橋桂子、外山裕一、花井知之、宮川雄一郎、石丸 進、渡辺 徹、羽賀一真	
協議事項	協議結果	
1. 2023-24 年度 第 2560 地区役員ご推挙のお願い	21 名	承認
2. 夜例会決算案の件		承認
3. 図書館等複合施設「まちやま」見学移動例会の件	日程: 9 月 6 日 (火)	承認
4. 慶弔規定の一部みなおしについて	クラブを退会された元会員の弔事対応について「会長一任」	承認
5. 令和 4 年度「第 40 回ふるさと絵画コンクール」協賛金のお願い	スマイルBOX会計より 10,000 円協力	承認
6. その他報告等	・小林幹扶会員より入院療養のため、12 月末をもって退会のお申し出がございました。 ・8 月例会開催について 感染対策徹底し通常例会(スクール形式)を行う。	承認

ロータリー財団 BOX

8 月 9 日現在累計 69,000 円

松山 浩仁 君 小林さん、本日の卓話よろしくお願いします。
 星野 義男 君 小林伸行さんの卓話に感謝して!!
 丸山 勝 君 財団に協力。
 落合 益夫 君 ロータリー財団に協力。
 石川 友意 君 ご協力大変ありがとうございます。またよろしくお願いします。



米山奨学 BOX

8 月 9 日現在累計 41,000 円

松山 浩仁 君 みなさん暑さとコロナに負けず頑張りましょう!
 石川 友意 君 米山奨学生サボー ペーテル君を歓迎して!!
 大野 新吉 君 久々の例会出席です。米山奨学会に協力して。小林さん卓話ありがとう。
 湊岡 茂 君 サボー ペーテル君、日本の暑い夏に慣れましたか? 小林会員、卓話ご苦労様です。



スマイル BOX

8 月 9 日現在累計 122,000 円

松山 浩仁 君 みなさんにご心配をおかけしましたが、先日無事陰性判定が出ました。
 武田 恒夫 君 小林さん卓話楽しみにしています。
 坂内 康男 君 本日卓話、小林さんごくろう様です。
 父 繁男さん、思い出します。とても楽しい思い出があります。
 花井 知之 君 先日の夜例会中止で残念でした。次回期待して下さい。
 石川 友意 君 小林社長さんの卓話に感謝して!!
 米山 忠俊 君 皆さんいいお盆が迎えられるように。コロナ感染が早く終息しますように。
 齋藤孝之輔 君 皆さん健康でありますように祈念して。
 金子太一郎 君 本日 小林さん、卓話楽しみにしています。
 外山 裕一 君 BOXに協力。
 田中耕太郎 君 BOXに協力です。
 森 宏 君 院内感染が急激に広がってしまい、入院が受入れできなくなっていました。
 皆さん、病気にならないように気をつけましょう。
 野崎 喜嗣 君 先日の新入会員卓話、コロナにより延期にしまい申し訳ございませんでした。
 みなさまもご留意ください。





小林製鋏株式会社

代表取締役 小林 伸行 会員

2021 年 6 月に入会させてもらった小林製鋏株式会社の小林伸行です。

祖父の賢次が大正 4 年 11 月に三条市袋の地で、農家の次男坊として生まれ、東京の荒川で鍛冶修業し、昭和 14 年に独立して医療用のガーゼを切る鋏や手術道具を作る鍛冶屋として始めました。

独立して間もなく第二次世界大戦になり東京の鍛冶屋が一家所に集められ、軍事医療用の鍛冶仕事を戦争中はしていたようです。終戦前の昭和 20 年 2 月父の繁男が生まれと東京大空襲前に故郷の三条に疎開し終戦を迎え東京に戻ってはみたが焼け野原で何も残ってなく、祖父の親に地元で居てほしいと言われ、三条で鍛冶屋を再開することになりました。医療用の品物を当初は作っていましたが販売先が東京でうまく続かず徐々に果樹用の鋏を作り始めそうです。昭和 32 年に自社ブランドの【越路】で登録商標をとり昭和 43 年父が 23 歳の時に、今の工場がある金子新田工業団地に移り本格的な鋏の量産をして行ったようです。

昭和 47 年 5 月に私が生まれ翌年の昭和 48 年に法人化し現在的小林製鋏があります。

私の学歴は、白百合幼稚園→一ノ木戸小学校→第二中学→三条商業高校で、高校卒業後に角利産業様に商品の流通を学ばせてもらいました。入社した年の夏頃に練馬にある東京営業所に配属され、関東近隣ホームセンター改装の手伝いや横浜の金物店・山梨のホームセンターに営業をしていました。平成 4 年に初代賢次が 76 歳の時に亡くなり、私もその年に小林製鋏に戻り今では 29 年鋏を現場で作ってます。

私が 23 歳・父の繁男 50 歳時に、100 名山を目指していた父達は正月休みを利用して九州の山を 4 か所連日登り戻ってきて、平成 7 年仕事始めの通勤時に脳梗塞で三之町病院に運ばれ左半身が動かず言葉も喋れずの状態でした。まだ会社に入って 2・3 年でしたので、仕事の段取りや仕入れ先もよくわからず大変でしたが、周りの人達から助けられ何とか続けられる事ができました。父もゆっくりですが回復し、ロータリークラブのお仲間に入れて頂き大変喜んでおりました。

私が 40 歳の年に社長を交代し、今まで何も考えてこなかった小林製鋏の経営理念や社是・社訓を作ることにしたのですが、25 歳から 40 歳まで在籍させてもらっていた三条エコノミークラブでの講師の言葉が印象に残っていた事を参考にさせていただきました。

芽切鋏シリーズ

(K-2) 小柄な手の方にも最適

スーパー芽切鋏
全長:170mm
刃長:47mm
重量:約70g
炭素鋼

手が小さい方でも
使いやすく
設計しました。



刃先キャップ付

(K-1)

打物 芽切鋏
全長:180mm
刃長:50mm
重量:約170g
鍛造炭素鋼 (弘前製)



(K-12)

打物 足長芽切鋏
(カーネーション切)
全長:260mm
刃長:48mm
重量:約210g
鍛造炭素鋼



芯切鋏シリーズ

(S-15)

軸切鋏
全長:160mm
刃長:25mm
重量:約85g
炭素鋼



(S-16)

柿芯切鋏
全長:155mm
刃長:25mm
重量:約85g
炭素鋼



刃の厚みを薄くする事により
軸を残さず切る事ができます。

柿

は、枝と実の間隔が狭くなっていて、その間に鋏を入れて収穫します。実に近い所で軸を切れるよう、刃のアーチが小さく下方をシノギ型にして刃の厚みを薄くし、枝と実の間隔に鋏が入りやすいようにしてあります。

(S-17)

梨芯切鋏
全長:155mm
刃長:15mm
重量:約85g
炭素鋼



梨

は、手で収穫しますが、りんご違って皮が薄く、ぶつかったところが傷みやすいので、収穫時や収穫後に梨の軸を実に近い(凹み)部分から切り落とすために、特殊な刃の形をしています。

摘果鋏シリーズ

(K-10)

花実鋏
全長:185mm
刃長:50mm
重量:約90g
炭素鋼



(K-10L)

花実鋏(左)
全長:185mm
刃長:50mm
重量:約90g
炭素鋼
※左専用



長野県のりんご農家の方からのご意見を元に、形状を工夫しています。

(K-9)

ステンレス摘果鋏
全長:185mm
刃長:50mm
重量:約90g
ステンレス鋼



(S-1)

ステンレス摘果鋏
全長:185mm
刃長:50mm
重量:約90g
ステンレス鋼



九州型芽切鋏の形状をベースに鋏びにくいステンレス刃を採用した鋏です。苗の栽培農家、果樹・野菜栽培農家と幅広く使われています。

葡萄切鋏シリーズ

(K-22)

ぶどう摘引鋏
全長:175mm
刃長:48mm
重量:約62g
炭素鋼



山形県のぶどう農家の方からのご要望で開発しました。先端部分を細くしてぶどうの粒と茎の間に刃が入りやすいよう、峰側の厚みを削り、シノギ型にしてあります。

(K-23)

プチカット
全長:140mm
刃長:36mm
重量:約42g
炭素鋼



ぶどう狩りに開発しました。小さなお子様の手でも入るよう小さくしてあります。今までの鋏ではお子様には大きすぎたため、小さく使いやすい鋏を開発いたしました。特に、ぶどう園を経営されている方に好評です。

(K-14)

ステンレスぶどう摘引鋏
全長:175mm
刃長:48mm
重量:約60g
ステンレス鋼



この商品は(K-22)と同型で、ステンレス素材です。全国のぶどう農家の方から御使用いただいており、ぶどうの摘果作業や収穫作業、梨の芽摘み作業にも多く使われている鋏です。

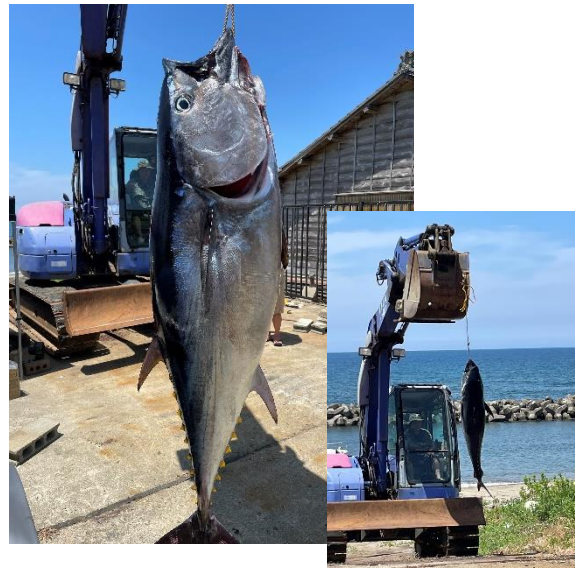
【社 是】 「森羅万象」 伝統を継承し未来へ生き続ける為に考え創造していく
【経営理念】 知恵を絞り現状よりも進化させお客様に新たな喜びと感動を与える
【社 訓】 水のように変化できる行動・考え方を持つ

北ロータリーの皆様に比べたらちっぽけな会社ですが、世間様に必要とされる会社を目指したいです。

日本製の良いものを長く使える事を証明するためにもトヨタのランドクルーザー平成元年式の車に乗っています。色々な所の不具合はありますが2年間探し続けてやっと見つけた車なので、自分が死ぬまで乗れたらいいなと。

最後に私には二人の娘が居て、孫も二人居ますが独身です。

趣味は海釣りで、釣る魚によって道具や仕掛けが違い高級な道具なら釣れるか言ううとそうでもなく奥が深いです。夏には仲間と寺泊でジェットバイクを乗ったり BBQ したりしています。今年 155 cm・70 kgの本マグロを寺泊沖で、一つ上の先輩が釣り上げたのを見て来年はマグロ釣りをやってみたくなったので、当分ゴルフはしなくていいかなと思っています。



ガバナー月信 8月号より



第 2560 地区ロータリアンのみなさま、こんにちは。

去る 7 月 1 日、グランドプリンスホテル高輪にて、ガバナー・元・次期ガバナー懇談会が開催されましたが、そこで佐藤芳郎国際ロータリー理事(岡山南 RC)の御講演があり、国際ロータリー会長ジェニファー・ジョーンズ氏が特に重視していることや RI 理事会の様子などが紹介されました。以下、ポイントを列挙していく形になりますが、その内容をみなさまにお伝えしたいと思います。

まず、ポリオ根絶についてですが、もうポリオは殆どなくなったという印象をもっている方もおられるかもしれませんが、野生株の感染者がいる限り、いつ感染が再拡大するかわかりません。最後まで根絶活動を貫くよう、要請がありました。

次に、ロータリーの 7 大重点分野が改めて強調されました。平和の推進、疾病との戦い、水と衛生、教育の支援、母子の健康、地域経済の発展、環境の保護ですが、「災害支援」もこれらに準じるものとして重要です。

そして、国際ロータリー会長からの要請として、各地区で革新的クラブを 2 つ以上作ってほしいとの要請がありました。

クラブと地区においては、成長のための戦略を練り、ロータリーを発展させてほしいとのことでした。

ローターファミリー、即ち、ロータリアンとその家族だけでなく、米山奨学生や青少年交換学生、財団の奨学生、ローターアクター、インターアクター、そしてロータリーの奉仕に関わった地域の方々などとの交流を活性化させてほしいとの要請がありました。

この 2 年間で一気に普及した IT やバーチャルを更に活用してロータリー活動を推進してほしいとのお話が

第 2560 地区 2022-23 年度 高橋 英樹 ガバナー

ありました。

DEI (Diversity, Equity and Inclusion 多様性、公平さ、インクルージョン) が、今年度の国際ロータリー会長が特に重視する理念であることが改めて強調されました。

また、地域化 (regionalization) によってロータリーを発展させていくことが構想されている旨、紹介がありました。地域化とは、例えば日本とインドでは、ロータリー活動を行う上で、様々な社会的特性や前提が異なっているので、それぞれの地域に合った手法でそれぞれロータリーを発展させていくのがよい、という考え方です。

ゲイツ財団との契約が無事に継続されたことについても報告がありました。

最期に、国際ロータリー会長が 10 月 24 日のポリオデーを盛り上げることを大変重視していることが述べられました。クラブレベルでも地区レベルでもよいし、日程が多少ずれても構わないので、ロータリーがポリオ根絶に多大な貢献をしていることを地域社会に広報するイベントや、募金活動など、是非企画し実施してほしいとのことでした。

以上が、佐藤理事からお話ががあった内容でした。これから 1 年間の国際ロータリーの方向性を示すものかと思いますが、みなさまどうぞ念頭においてロータリー活動を構想して頂ければと思います。

なお、ポリオデーについてですが、私の考えとしては、ロータリーの奉仕活動は個々のロータリアンやクラブが主体になって行うものと思われまので、当地区で一斉に実施してほしい具体的な内容をみなさまに求めることは考えておりません。国際ロータリー会長の意図を汲みつつ、それぞれ主体的に企画を立案・実施していただければ幸いです。どうぞよろしくお願いします。

